

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2006-128100(P2006-128100A)

【公開日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2006-019

【出願番号】特願2005-287181(P2005-287181)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/28 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/26 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/28

H 0 5 B 33/22 A

H 0 5 B 33/14 B

H 0 5 B 33/26 Z

H 0 5 B 33/22 C

H 0 5 B 33/22 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月14日(2008.10.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の電極上に、発光物質を含む第 1 の層、電子供与性を示す物質を含む第 2 の層、透光性を有する第 3 の層、ホール輸送媒体となる材料を含む第 4 の層、第 2 の電極が順に設けられており、

前記第 2 の電極は金属を含む層を有し、

前記第 3 の層は、錫酸化物、インジウム酸化物、亜鉛酸化物、ガリウムを含む亜鉛酸化物、又はモリブデン酸化物のいずれか一であることを特徴とする発光素子。

【請求項 2】

第 1 の電極上に、発光物質を含む第 1 の層、電子供与性を示す物質を含む第 2 の層、透光性を有する第 3 の層、ホール輸送媒体となる材料を含む第 4 の層、第 2 の電極が順に設けられており、

前記第 2 の電極は金属を含む層を有し、

前記第 3 の層は、透光性を有する金属であることを特徴とする発光素子。

【請求項 3】

請求項 2 において、

前記第 3 の層は、透光性を有するように薄く形成されていることを特徴とする発光素子。

。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一において、

前記第 2 の層は、金属酸化物を含むことを特徴とする発光素子。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一項において、

前記第 2 の層は、電子輸送性を示す有機化合物を含み、  
前記電子輸送性を示す有機化合物は、共役骨格を含む配位子を有する金属錯体である  
ことを特徴とする発光素子。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一項において、  
前記ホール輸送媒体となる材料は、芳香族アミン骨格を有する有機化合物であることを  
特徴とする発光素子。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一項において、  
前記ホール輸送媒体となる材料は、P 型半導体を有する無機化合物であることを特徴と  
する発光素子。